

株主の皆様へ

変革の行動を推し進め、
収益基盤の再構築に取り組み、
持続的な成長と企業価値の向上を
図ってまいります。

代表取締役社長
嶋山 芳夫



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第120期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の決算を行いましたのでご報告申し上げます。

経営環境について

新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵攻の影響などにより、原油価格の高騰や急激な円安が進み、先行きにつきましては、以前にも増して不透明な状況となっています。印刷業界におきましても、電子書籍市場やインターネット広告市場の拡大による紙媒体の需要減少に加え、原材料価格の高騰や物流コストの上昇もあり、依然として厳しい経営環境が続きました。

当グループの取り組みについて

印刷事業につきましては、セールスプロモーション部を中心にマーケティング戦略を推し進め、能動的な企画立案や顧客課題の解決提案に取り組むとともに、インパクトのある表現が可能なパノラマ印刷の拡販に

努めました。また、敷地を売却した草加工場の機能を、連結子会社の新村印刷株式会社が保有する狭山工場の敷地内に建設中の新工場へ移転する準備を進めました。

電子部品製造事業につきましては、エッチング精密製品事業において、営業・設計・検査・品質保証に特化し、製造を協力会社へ完全委託する「ファブレス体制」へ移行するとともに、事業拠点を坂戸市へ移転しました。また、前連結会計年度において撤退を意思決定したフラットパネルセンサー事業においては、当連結会計年度末を以って生産を終了しました。

その他、環境に配慮した取り組みとして進めている「グリーンプリンティング認定」は、当連結会計年度においては連結子会社の新村印刷株式会社の狭山工場にて取得しました。

また、収益構造の再構築をめざし希望退職を実施するとともに、経営資源の選択と集中の一環として、連結子会社の光村商事倉庫株式会社が行う保険代理店事業を譲渡しました。

業績について

売上高は154億12百万円(前年同期は159億37百万円)、損益面では印刷事業の収益改善により営業利益2億20百万円(前年同期は5億42百万円の損失)、経常利益4億16百万円(前年同期は2億28百万円の損失)となりました。さらに、資産の効率化及び財務体質の強化を図るために投資有価証券の一部を売却したことに伴い投資有価証券売却益3億1百万円を特別利益に計上し、一方、上記希望退職の実施に伴い発生した退職加算金等3億54百万円を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益49百万円(前年同期は7億99百万円)となりました。

なお、当連結会計年度の配当は1株につき50円とさせていただきます。

事業全体の再構築に向けて

当グループでは、全社員が一丸となって変革の行動を加速し、新たなビジネスモデルの構築と既存ビジネスの構造改革を進め、収益力強化の推進、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

印刷事業では、営業面において、デジタルコンテンツを取り入れた提案型営業を強化し、紙媒体以外の受注獲得に取り組むとともに、新商材・サービスの開発を進めてまいります。

生産面においては、新たにビジネスフォームに特化した新工場を2022年9月に竣工し、10月からの本稼働

を予定しております。受注拡大を見込むCVS(コンビニエンスストア)で使用する透明シート付配送伝票入れ袋)やラベル伝票をはじめとする物流関連、医療用添付文書などを製造する新工場の稼働を早期に軌道に乗せるとともに、商業印刷分野においてもグループ一体での生産体制の整備を進め、事業全体の収益改善に努めてまいります。

電子部品製造事業では、エッチング精密製品事業において、協力会社との生産協業体制をさらに発展させ、金属加工技術を活かした新たな提案営業を強化し、受注拡大、事業利益の増加に取り組んでまいります。

不動産賃貸等事業においては、経営資源の有効活用及び財務体質の強化を図るため、現有資産の積極的な活用に取り組んでまいります。

最後に

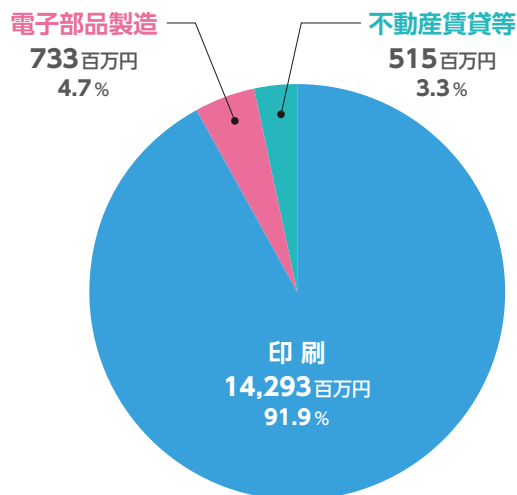
次期の連結業績見通しにつきましては、売上高150億円、営業利益3億50百万円、経常利益4億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億80百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

セグメント別事業報告

当グループでは、宣伝用印刷物や新聞・出版、伝票、包装・パッケージ、映像制作などを扱う印刷事業、エッチング精密製品を扱う電子部品製造事業、本社ビル等の不動産賃貸や太陽光発電を扱う不動産賃貸等事業を行っております。

売上高構成比

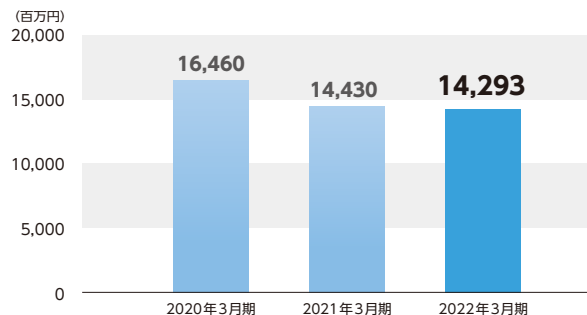


印刷

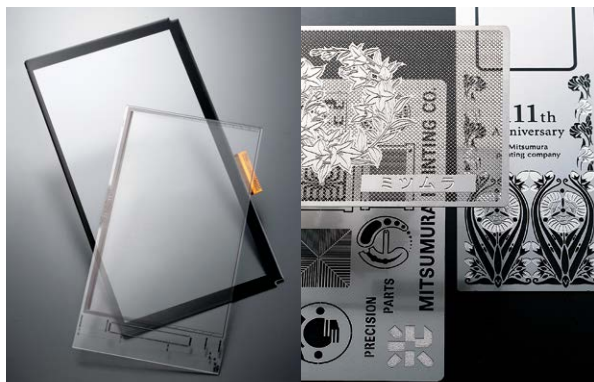


売上高は142億93百万円(前年同期は144億30百万円)と横ばいでしたが、物流伝票の生産量増加等により、営業利益は2億26百万円(前年同期は5億21百万円の損失)となりました。

売上高 14,293百万円

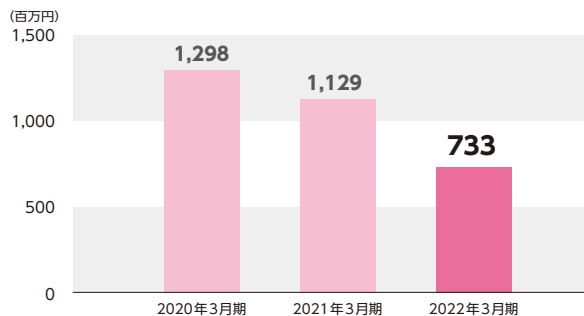


電子部品製造



フラットパネルセンサー事業の生産を当連結会計年度末に終了したこともあり、売上高は7億33百万円(前年同期は11億29百万円)、営業損失は3億90百万円(前年同期は3億96百万円の損失)となりました。

売上高 **733**百万円

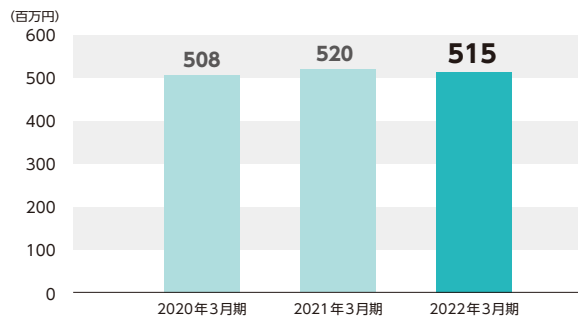


不動産賃貸等



売上高は5億15百万円(前年同期は5億20百万円)、営業利益は3億84百万円(前年同期は3億75百万円)となりました。

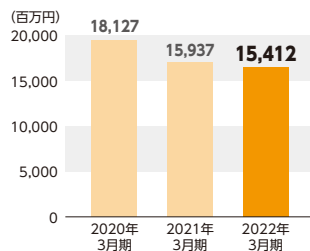
売上高 **515**百万円



連結計算書類

売上高

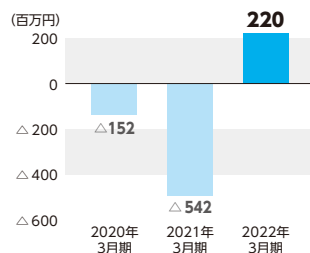
15,412
百万円



営業利益

または 営業損失

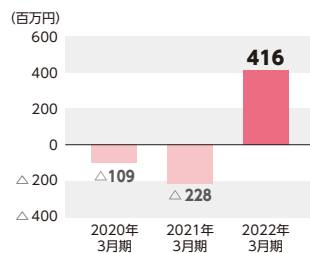
220百万円



経常利益

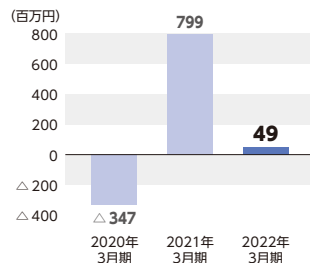
または 経常損失

416百万円



親会社株主に
帰属する当期純利益
または
親会社株主に
帰属する当期純損失

49百万円



連結貸借対照表要旨

(単位：百万円)

科目	前期末 2021年3月31日現在	当期末 2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	12,046	9,133
固定資産	17,827	17,969
有形固定資産	11,399	12,276
無形固定資産	87	74
投資その他の資産	6,340	5,618
資産合計	29,873	27,102
負債の部		
流動負債	7,159	5,717
固定負債	4,930	4,198
負債合計	12,089	9,916
純資産の部		
株主資本	15,776	15,673
資本金	5,607	5,607
資本剰余金	4,449	4,449
利益剰余金	5,805	5,702
自己株式	△ 86	△ 86
その他の包括利益累計額	1,827	1,333
非支配株主持分	178	180
純資産合計	17,783	17,186
負債純資産合計	29,873	27,102

連結損益計算書要旨

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	15,937	15,412
売上原価	13,419	12,382
売上総利益	2,517	3,030
販売費及び一般管理費	3,060	2,809
営業利益または営業損失	△ 542	220
営業外収益	423	255
営業外費用	109	60
経常利益または経常損失	△ 228	416
特別利益	5,931	351
特別損失	2,874	557
税金等調整前当期純利益	2,828	209
法人税等合計	2,020	155
当期純利益	807	54
非支配株主に帰属する当期純利益	8	4
親会社株主に帰属する当期純利益	799	49

次期の連結業績は、売上高150億円、営業利益3億50百万円、経常利益4億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億80百万円を見込んでおります。

また配当金につきましては、年50円とさせていただきます。

連結包括利益計算書要旨

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
当期純利益	807	54
その他の包括利益	1,659	△ 494
包括利益	2,467	△ 440
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,459	△ 445
非支配株主に係る包括利益	8	4

連結キャッシュ・フロー計算書要旨

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2020年4月1日から 2021年3月31日まで	2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,121	△ 1,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,414	△ 1,419
財務活動によるキャッシュ・フロー	23	△ 759
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減(△)額	6,559	△ 3,629
現金及び現金同等物の期首残高	1,793	8,352
現金及び現金同等物の期末残高	8,352	4,723

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第50回 日本プロモーション・マーケティング協会展2021 2点が「金賞」を受賞

2021年に開催された第50回 日本プロモーション・マーケティング協会展2021(主催：一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会)において、当社が制作に携わった作品が2つの賞を受賞しました。

JPM POPクリエイティブ・アワード金賞 (トイレタリー部門)

株式会社
イースマイル 様

「こらざるの湯」
カウンター什器



JPM POPクリエイティブ・アワード金賞 (出版・エンタテインメント・金融・その他の業種部門)

東宝株式会社 様

劇場版
ポケットモンスター ココ
スタンディ



デジタルブックを活用した 新サービス

当社では、需要が拡大する電子書籍市場において、デジタル基盤(プラットフォーム)を活用し、川上から川下まで付加価値を付けた新しい形態のデジタルブックを提供するサービスを始めました。従来のデジタルブックに見られるように、カタログなどの紙媒体をデジタル化することはもちろん、当社の強みのひとつである映像・動画などのリソースやエンドユーザーの志向を分析するマーケティングツールを組み込むなど、新たなビジネスモデルの構築に取り組んでいます。

当社スタッフがお客様のご利用シーンに応じて機能をカスタマイズし、課題解決に向けたご提案をお届けします。

マーケティング
ツールを組み込んで
ユーザーの志向を
分析することが
できます

動画や映像を
組み込むことが
できます



SDGsへの取り組み

当社では、これまで取り組んできたCSR活動を基軸に、4つの領域でSDGsに取り組み、グループ全体での持続的成長・発展を目指します。

01 エネルギー使用量の削減

省エネの推進により、エネルギー使用量を削減し、環境負荷を低減する取り組みを行っています。



02 資源の使用量削減

自分たちが生産するものや消費するものにはしっかりと責任を持ち、さらには廃棄そのものを減らす取り組みを行っています。



03 働きがいのある職場環境

従業員一人ひとりがやりがいをもって仕事に取り組める環境を作るため、働き方改革を進めています。



04 企業理念と経営ビジョンを軸とした取り組み

社会的課題の解決を通じたビジネス機会の創出と、多様なステークホルダーとのパートナーシップを基軸としたアプローチにより、CSR・ESGの推進とビジネスの成長への取り組みを行っています。



アンチグレア製造技術の特許をライセンス契約

アンチグレアガラス加工※において、デジタルパターン設計手法と製造技術を確立し、材料メーカーとの共同出願で特許を取得。中国大手ガラス加工メーカーと「特許技術の供与と製造委託等のライセンス契約」を締結しました。

※アンチグレアガラス加工：グレアは光沢の意。表面に光沢がなく、光の反射も少なくなるようにガラスを加工すること

光村グラフィック・ギャラリー(MGG)からアートを通じた文化・芸術支援を

本社ビル1階にあるMGGは、芸術を中心に人々が集い、コミュニケーションを深めることを目的として、アーティストたちの作品展覧会や様々なイベント・ワークショップを開催しています。2021年10月には当社カレンダーに作品をご提供いただいた阪本トクロウ先生を迎えて光村印刷創業120周年記念展「perspective 阪本トクロウ」を開催。2022年5月には今子青佳書道展「一筒井康隆『残像に口紅を』」を開催し、書家の今子青佳先生と作家の筒井康隆先生との特別対談イベントも好評を博しました。



会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	光村印刷株式会社
創業	1901年10月20日
設立	1936年12月21日
資本金 <small>(資本剰余金を含む)</small>	100億57百万円
従業員	445名 (連結705名)

事業所



本社

本 社

〒141-8567
東京都品川区大崎
一丁目15番9号
電話：03-3492-1181 (代表)

大阪支店

〒541-0042
大阪市中央区今橋
二丁目2番17号
グロース北浜ビルディング3階
電話：06-6229-5120

川越工場

〒350-1165
埼玉県川越市南台
一丁目1番地1
電話：049-242-4025



草加工場

〒340-0013
埼玉県草加市松江
五丁目2番31号
電話：048-935-1201



那須工場

〒324-0036
栃木県大田原市下石上
1378番7
電話：0287-29-2610



坂戸事業所

〒350-0214
埼玉県坂戸市千代田
五丁目3番17号
電話：049-227-6764

※事業所開設は、2022年4月1日です。

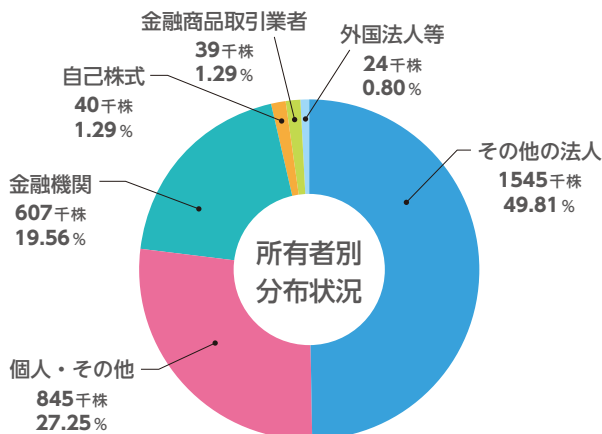
関係会社

新村印刷株式会社
株式会社光村プロセス
株式会社城南光村
光村商事倉庫株式会社

株式会社メディア光村
株式会社大洲
群馬高速オフセット株式会社

株式情報 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	9,947,800 株
発行済株式の総数	3,103,420 株
単元株式数	100 株
株主数	2,346 名



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱製紙株式会社	511	16.70
DIC株式会社	457	14.91
株式会社読売新聞グループ本社	224	7.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	188	6.15
株式会社三菱UFJ銀行	112	3.67
株式会社SCREENホールディングス	100	3.26
株式会社十六銀行	66	2.17
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	51	1.69
三菱HCキャピタル株式会社	48	1.59
株式会社みずほ銀行	45	1.46

(注) 1. 持株比率は自己株式を除外して計算しております。

2. DIC株式会社の所有株式は、同社が退職給付信託の信託財産として拠出しているものです。(株主名簿上の名義は、「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・DIC株式会社口)」です。)

株式事務のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
剰余金配当の基準日	3月31日及び中間配当の支払を行うときは9月30日
定時株主総会の基準日	3月31日
定時株主総会の開催	毎年6月
公告の方法	電子公告 (https://www.mitsumura.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 【郵送先】〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話0120-782-031 (通話料無料)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座を開設されている証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



UD
FONT



光村印刷株式会社 [東証スタンダード：7916]

〒141-8567 東京都品川区大崎 一丁目 15 番 9 号

〈ホームページ〉

<https://www.mitsumura.co.jp/>

右記の QR コードからもご覧いただけます。

